令和７年３月19日

カーボンニュートラル関連授業の紹介について

学務センター

昨今の社会問題の一つに、地球規模の気候変動問題があります。

その対策として、カーボンニュートラル（温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること）の実現は大きな効果を発揮すると考えられ、120 以上もの国と地域が「2050 年カーボンニュートラル」という目標を掲げています。

カーボンニュートラルは新たな挑戦として社会全体で取り組むべき課題となっています。名城大学においても、教育・研究・社会貢献の観点から、カーボンニュートラルに関わる取り組みを推進するための基本方針を策定しています。

（名城大学ホームページ「カーボンニュートラル推進に向けて」抜粋）

名城大学の授業においても、多数の科目でカーボンニュートラルについて、取り扱っています。

下記は昨年度開講された授業のうち、カーボンニュートラルに関連する内容を取り扱った授業の一例です。下記の科目を参考に、シラバスで内容を確認のうえ、皆さんもカーボンニュートラルをはじめ、環境問題やエネルギー問題について考えてみてください。

令和６年度の開講実績（学部開講科目のうち、一部を抜粋）

法学部	環境法、応用演習Ⅰ（環境法演習）、特設科目Ｂ（アジア法）、自然地理学
経営学部	社会環境会計論、グリーン・マーケティング論、アメリカ経済論、環境経済論、環境経営論
経済学部	物流論、アメリカ経済論、環境経済論、環境ビジネス論、人間と環境など
理工学部	パワーエレクトロニクス、触媒化学、エネルギー化学、環境材料、再生可能エネルギー工学、物質循環論、建築環境概論など
農学部	生命・食料・環境、保全植物学、緑地環境学など
薬学部	環境科学
都市情報学部	人間と環境、環境の政策など
人間学部	環境人間学、現代に生きる、都市と人間、環境社会学
外国語学部	人間と自然、地球と宇宙

＊**各授業科目の内容は，最新の授業計画書（シラバス）で確認してください**（必ずしも全回数、カーボンニュートラルについて扱わない科目もあります）。

以　上